



菊地武彦《線の形象2022-1(Drawing)》2022年 当館蔵

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO



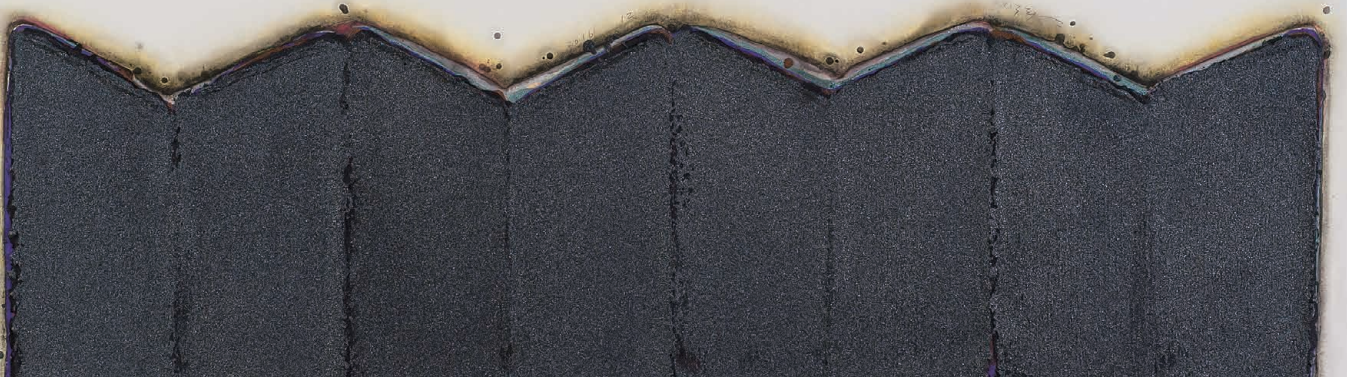
線

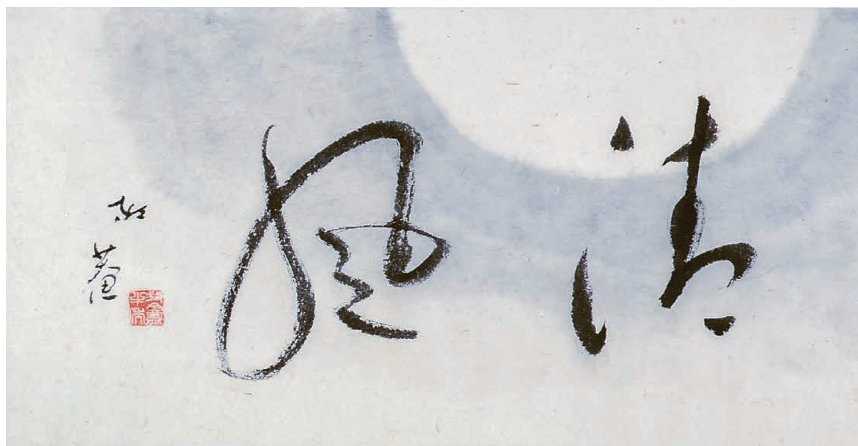
LINE

— 表現の究極 —
Ultimate Expression

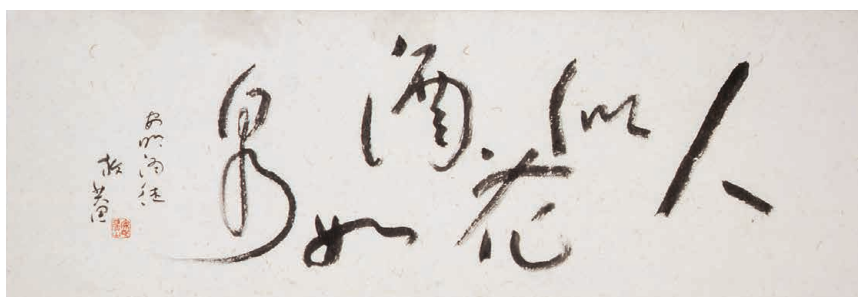
2024 2.10_{SAT} - 4.7_{SUN}

菊地武彦《線の形象2016-12》2016年（部分）当館蔵

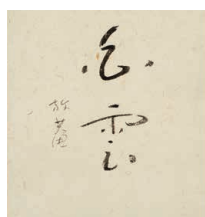




1



2



3



4



5



6



7

1. 小杉放菴《清風》1950-60年代 2. 小杉放菴《人似花酒如泉》1940-50年代 3. 小杉放菴《白雲》1940年代 4. 小杉放菴《人物(女の子)》制作年不詳
5. 小杉放菴《野球をする人物》制作年不詳 6. 小杉放菴《一竿子》1935(昭和10)年頃 7. 小杉放菴《墨竹蠅螂図》1930年代
作品はすべて当館蔵

線 — 表現の究極 —

「線」は描くことのはじまりであると言えます。小杉放菴(1881-1964)は、線を「表現の究極」と位置づけたように、ひとつひとつの線には画家の個性が存分に表れています。

本展では、放菴をはじめ、白描画で大成した吉川霊華(1875-1929)、一定のキャリアを積んだ後、線を引くことに独自の画境を切り拓いた菊地武彦(1960-)など、近代から現代にいたる「線」による名品を展示。さらには、文字も「線」による美術と捉え、味わいのある書を手がけた放菴の書家としての魅力にも迫ります。

【関連イベント】

担当学芸員によるギャラリートーク ※予約不要・要入館料
■日時/2月17日(土)、3月9日(土)、3月23日(土)
各日11:00~(1時間程度)

■開館時間：9:30-17:00 ※入館は閉館30分前まで ■休館日：月曜日(2月12日は開館)、2月13日(火)

■入館料：一般730(650)円、大学生510(460)円、高校生以下は無料

※()内は20名以上の団体割引料金 ※第3日曜日「家庭の日」(2月18日、3月17日)は、大学生は無料

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、日光市公共施設使用料免除カードの交付を受けた方とその付き添いの方1名は無料

主催：公益財団法人 小杉放菴記念日光美術館、日光市、日光市教育委員会

小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431
栃木県日光市山内2388-3
Tel: 0288-50-1200
<https://www.khmoan.jp/>



【交通案内】 電車/東武日光駅、JR日光駅から清滝・細尾、中禅寺・湯元、西参道(東照宮)方面行きバス5分。「神橋」停留所より徒歩3分。 車/日光宇都宮道路・日光インターから約2km。併設の市営神橋駐車場をご利用ください。美術館受付で駐車券を提示していただくと、1時間まで無料となります。